

# コウノトリのひなに足環



目隠ししたコウノトリのひなに個体識別用の足環を装着する職員＝いずれも淡路市内（撮影・鈴木雅之）

## 淡路市内で誕生の1羽

淡路市内で誕生した国の天然記念物コウノトリのひな1羽に14日、個体識別用の足環が装着された。県立コウノトリの郷公園（豊岡市）の職員が手際よく足環を取り付け、成育状況などを確認した。

足環は巣立ち後の追跡調査のため、ふ化から40日を過ぎた頃に同公園職員が装着する。高さ約10センチの電柱の上に作られた巣に高所作業車で近づき、ひなに布を

掛けて捕獲。地上に降ろして体重や足の太さを測った後、識別のための色が付いた足環を両足に取り付けた。性別や健康状態を調べるため、血液も採取した。

目隠しをされたひなは巢れることはなく、作業は約20分で終了。巣を離れていた親鳥も無事に戻った。ひなは4月初めにふ化した。同公園によると、体重は3・1キロで標準的。巣に



足環を装着し終えたコウノトリのひな

## 郷公園職員が成育確認

戻された後もすぐに立ち上がるなど、順調に生育しているという。巣立ち後は6月上旬になる見込みで、同公園の船越稔主任飼育員は「ひなは1日に1キロ程の餌を食べる。餌を十分に確保できれば問題なく巣立つだろう」と予測する。

性が高いという。

（内田世紀）

①淡路市内で誕生した国の天然記念物コウノトリのひなに、何が装着されましたか。

②コウノトリのひなに装着する時期と理由は何ですか。

③淡路島でコウノトリのひなが誕生したのはいつですか。ふ化したひなはいつごろ巣立っていきますか。

④コウノトリのひな1羽は、1日にどれくらいの餌を食べますか。

⑤コウノトリの成育について調べてみましょう。